



## 2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月9日  
上場取引所 東

上場会社名 アシードホールディングス株式会社  
コード番号 9959 URL <https://www.aseed-hd.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河本 大輔  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経営企画グループ (氏名) 大戸 章浩 TEL 084-923-5552  
配当支払開始予定日 -  
決算補足説明資料作成の有無 : 無  
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第1四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年6月30日）

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	6,210	8.9	311	10.5	341	11.1	184	△21.4
2024年3月期第1四半期	5,702	5.2	282	△13.8	307	△15.8	234	△3.0

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 260百万円 (△8.5%) 2024年3月期第1四半期 284百万円 (1.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	15.04	-
2024年3月期第1四半期	19.25	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	19,149	6,779	35.4	551.85
2024年3月期	18,928	6,630	35.0	539.66

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 6,779百万円 2024年3月期 6,630百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	8.00	-	9.00	17.00
2025年3月期	-	-	-	-	-
2025年3月期(予想)	-	9.00	-	9.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	11.8	950	23.8	1,150	10.8	800	4.1	65.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無  
新規 -社（社名）、除外 -社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料P8. 「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期1Q	13,495,248株	2024年3月期	13,495,248株
② 期末自己株式数	2025年3月期1Q	1,209,618株	2024年3月期	1,209,618株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期1Q	12,285,630株	2024年3月期1Q	12,203,577株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、社会経済活動正常化の勢いに若干足踏みはみられるものの、穏やかに回復しております。一方で、物価上昇による生活費の負担は増しており、実質賃金は減少するなど景気の先行きが不透明な状況が続いております。

こうした状況の中、アシードグループは、「ASEEDING THE FUTURE 人、地球、未来 — すべての笑顔と健康のために」の実践に向けて更新した「中期経営計画」に基づき、ブランド創造企業への挑戦、自販機運営リテイル事業の構造改革、M&Aによるグループ強化、新規事業・海外事業の強化を中心とした成長の加速に取り組んでおります。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高6,210百万円（前年同四半期比8.9%増）、営業利益311百万円（同10.5%増）、経常利益341百万円（同11.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に発生した固定資産売却益等一過性の要因が剥落したことにより、184百万円（同21.4%減）となりました。

また、当第1四半期連結会計期間より、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報等の注記）」の「3. 報告セグメントの変更等に関する事項」に記載のとおり、「自販機運営リテイル事業」に含まれていたアシード株式会社の飲料ウェルネス事業の区分を、「飲料製造事業」へ変更しております。前年同四半期の数値については変更後の区分で組み替えた数値を記載しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載しております。

#### (自販機運営リテイル事業)

自販機運営リテイル事業におきましては、生産・物流コストの高騰に対して業務の見直しによる生産性の向上や売価・設置条件の適正化による収益性の改善に引き続き取り組むとともに、全国に広がる拠点の採算性向上に不可欠なM&Aを実施しました。一方新札切替に伴う機材の対応費用等が先行しています。

この結果、自販機運営リテイル事業の売上高は3,409百万円（前年同四半期比5.3%増）、セグメント利益は18百万円（同50.7%減）となりました。

#### (飲料製造事業)

飲料製造事業におきましては、原材料・資材・燃料費の値上がりに対応した価格設定を行い収益性の改善を進めると共に、炭酸缶ラインの東西2拠点体制による営業力の強化を推進しました。

6月には自社ブランド商品として、国産果実のおいしさ届けるチューハイシリーズ「アスター」の数量限定商品として、広島県産八朔のストレート果汁を使用した「アスター 広島はっさくのチューハイ」を発売しました。

アシードブリュー株式会社・宝積飲料株式会社の2社の成長は足元やや足踏みとなりましたが、昨年発生していたM&A手数料がなくなったことに加え、静岡ローストシステムの茶葉加工が堅調に推移したことがセグメントの業績を押し上げました。

この結果、飲料製造事業の売上高は2,705百万円（前年同四半期比14.1%増）、セグメント利益は363百万円（同13.6%増）となりました。

#### (不動産運用事業)

不動産運用事業におきましては、当社及びアオンズエステート株式会社を中心に所有不動産の運用を行っており、不動産運用事業による売上高は34百万円（前年同四半期比2.0%増）、セグメント利益は55百万円（同7.5%増）となりました。

なお、売上高はセグメント間の内部売上高57百万円を含めると92百万円となります。

#### (その他事業)

その他事業におきましては、ロジックイノベーション株式会社が東西の物流部門を強化すると共に、グループ内物流の内製化に向け、体制整備を行いました。

この結果、その他事業の売上高は61百万円（前年同四半期比2.6%増）、セグメント利益は7百万円（前年同四半期は0百万円のセグメント利益）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は7,346百万円となり、前連結会計年度末に比べ284百万円増加いたしました。これは現金及び預金の減少256百万円、売掛金及び契約資産の増加269百万円及び商品及び製品の増加140百万円等によるものです。また、固定資産は11,802百万円となり、前連結会計年度末に比べ63百万円減少いたしました。これは建物及び構築物(純額)の減少27百万円、機械装置および運搬具(純額)の減少42百万円及び投資有価証券の増加21百万円等によるものです。

この結果、総資産は19,149百万円となり、前連結会計年度末に比べ220百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は9,190百万円となり、前連結会計年度末に比べ310百万円増加いたしました。これは買掛金の増加362百万円、短期借入金の増加200百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少151百万円、未払法人税等の減少110百万円及び賞与引当金の増加116百万円等によるものです。また、固定負債は3,178百万円となり、前連結会計年度末に比べ239百万円減少いたしました。これは長期借入金の減少225百万円、リース債務の減少20百万円等によるものです。

この結果、負債合計は12,369百万円となり、前連結会計年度末に比べ71百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は6,779百万円となり、前連結会計年度末に比べ149百万円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益による増加184百万円及び剰余金の配当による減少110百万円等によるものです。

この結果、自己資本比率は35.4%(前連結会計年度末は35.0%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年5月10日「2024年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,570	1,313
受取手形	13	33
売掛金及び契約資産	3,469	3,739
商品及び製品	957	1,097
原材料及び貯蔵品	292	314
前払費用	151	204
その他	609	646
貸倒引当金	△1	△2
流動資産合計	7,062	7,346
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,546	2,518
機械装置及び運搬具(純額)	2,699	2,656
工具、器具及び備品(純額)	52	51
土地	3,821	3,821
リース資産(純額)	334	325
建設仮勘定	66	128
有形固定資産合計	9,520	9,503
無形固定資産		
のれん	171	165
ソフトウェア	51	46
リース資産	21	17
その他	25	25
無形固定資産合計	270	255
投資その他の資産		
投資有価証券	1,430	1,452
長期前払費用	195	204
繰延税金資産	69	60
その他	423	370
貸倒引当金	△44	△44
投資その他の資産合計	2,075	2,043
固定資産合計	11,866	11,802
資産合計	18,928	19,149

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,795	3,158
短期借入金	2,330	2,530
1年内返済予定の長期借入金	1,281	1,129
リース債務	143	144
未払金	768	685
未払法人税等	234	124
未払消費税等	207	130
賞与引当金	180	296
その他	938	991
流動負債合計	8,880	9,190
固定負債		
長期借入金	2,757	2,531
リース債務	238	217
再評価に係る繰延税金負債	34	34
退職給付に係る負債	148	146
その他	238	248
固定負債合計	3,418	3,178
負債合計	12,298	12,369
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	798	798
資本剰余金	1,034	1,034
利益剰余金	5,523	5,598
自己株式	△630	△630
株主資本合計	6,726	6,800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	134	160
土地再評価差額金	△363	△363
為替換算調整勘定	133	182
その他の包括利益累計額合計	△96	△20
純資産合計	6,630	6,779
負債純資産合計	18,928	19,149

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	5,702	6,210
売上原価	3,437	3,796
売上総利益	2,265	2,414
販売費及び一般管理費	1,983	2,102
営業利益	282	311
営業外収益		
受取配当金	6	8
受取保険料	16	—
その他	25	41
営業外収益合計	48	49
営業外費用		
支払利息	8	8
持分法による投資損失	7	5
その他	7	6
営業外費用合計	23	20
経常利益	307	341
特別利益		
固定資産売却益	67	—
特別利益合計	67	—
特別損失		
固定資産除却損	—	39
特別損失合計	—	39
税金等調整前四半期純利益	374	301
法人税、住民税及び事業税	156	119
法人税等調整額	△16	△2
法人税等合計	139	116
四半期純利益	234	184
親会社株主に帰属する四半期純利益	234	184

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益	234	184
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	26
持分法適用会社に対する持分相当額	18	49
その他の包括利益合計	49	75
四半期包括利益	284	260
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	284	260

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日 企業会計基準委員会)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。これによる当第1四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	174百万円	198百万円
のれんの償却額	4	6

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	不動産運用事業	その他事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,237	2,371	34	59	5,702	—	5,702
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	34	54	11	102	△102	—
計	3,238	2,405	88	71	5,804	△102	5,702
セグメント利益	38	319	51	0	409	△127	282

(注) 1. セグメント利益の調整額△127百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他事業は倉庫・物流・環境事業であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

飲料製造事業において、当社が静岡ローストシステム株式会社及びマルサン萩間茶株式会社の全株式を取得し子会社化したことにより、新たにのれんが発生しております。当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において12百万円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	自販機運営 リテイル事業	飲料製造 事業	不動産運用事業	その他事業 (注) 3	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,409	2,705	34	61	6,210	—	6,210
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1	35	57	26	120	△120	—
計	3,410	2,741	92	87	6,331	△120	6,210
セグメント利益	18	363	55	7	444	△132	311

(注) 1. セグメント利益の調整額△132百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他事業は倉庫・物流・環境事業であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

2024年10月に予定している組織再編を踏まえ、当第1四半期連結会計期間より、「自販機運営リテイル事業」に含まれていたアシード株式会社の飲料ウェルネス事業の区分を、「飲料製造事業」へ変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法に基づき作成したものを記載しております。